

# 県勢4人 育成枠に

松山<sup>(八学)</sup>中日1位 / 名原<sup>(青森)</sup>広島1位

中田<sup>(東義)</sup>巨人4位 / 佐藤<sup>(光星)</sup>S B 11位

20日に行われたプロ野球ドラフト会議で、本県関係では4選手が育成枠で指名を受けた。八戸学院大の松山晋也投手（七戸町出身、野辺地西高出）が中日、青森大の名原典彦外野手（広島・瀬戸内高出）が広島のそれぞれ1位、東奥義塾高の中田

歩夢内野手（弘前市出身）が巨人の4位、八学光星高の佐藤航太外野手（東京都出身）がソフトバンクの11位だった。本紙調べによると、支配下指名の本県関係選手が一人もいなかったのは2008年以来14年ぶり。大学でネット配信を見

守った松山は指名直後、「よっしゃあ！」とガッツポーズ。憧れの選手に躍じた黒田博樹さんを挙げ「気迫あるピッチングで、熱い男として活躍したい」と意気込んだ。恩師の正村公弘（やすひろ）監督とも固い握手

を交わした松山。「まずは（育成選手の）3桁の背番号から2桁、1桁にしたい」と誓った。地元広島から指名を受けた名原は、大学での会見で「うれしいと悔しいが混在している」と、支配下指名を逃した複雑な心境を明かすも、チーム

メイトから胴上げされる北東北大学野球で何度も対戦し、日本ハムから2位で支配下指名された富士大の金村尚真投手に触れ「プロの世界で対戦したい」と宣言。「足の

速さを生かしたプレーでは負けない」と闘争心のぞかせた。高校内でタブレット端末で中継を見守った中田は、巨人から育成4位指名を受けると、母・英子さん（53）や工藤秀樹監督と握手を交わし、喜びを分かち合った。東奥義塾高出身としては65年ぶりのプロ入り。笑顔の合間にも真剣な表情をのぞかせた中田は

## 14年ぶり支配下指名ゼロ



中日から育成1位指名を受け、チームメイトや後輩から祝福を受ける松山。20日夜、八戸学院大



佐藤 航太

「スタートラインに立てた。しっかり体をつくって、はい上がっていききたい」と決意を語った。八学光星高によると、佐藤は21日に取材対応する予定。（本紙取材班）